

平成 30 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	平成 30 年 10 月 25 日(木)	時間	13 時 45 分 ～14 時 15 分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 常岡委員長(伊丹市医師会会長)、栗田委員(宝塚市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、東委員(尼崎市医師会会長)、森田委員代理として飯田委員(伊丹市歯科医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、岡野委員(学識経験者)、辻委員(伊丹市消防局長)、坂本委員(伊丹市健康福祉部長)、田中委員(三田市健康福祉部参事)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、飯石委員(市立伊丹病院病院長)、関委員(市立伊丹病院副院長)、大迫委員(市立伊丹病院看護部長)、米倉委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 藤末委員(川西市医師会会長)、清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、酒井委員(宝塚市健康福祉部長)、荒崎委員(川西市健康増進部長)</p> <p>オブザーバー： 筒井(市立伊丹病院副院長)、三木(診療部長)、森田(診療部長)、太田(歯科口腔外科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、勢旗(医療技術部室長)、上田(薬剤科長)</p>				
議題 内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、平成 30 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会にお越しいただきましてありがとうございます。本日は、市立伊丹病院より活動報告をしていただきまして、地域医療支援病院としての市立伊丹病院を前進させていくために、議論していきたいと思っております。</p> <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第 2 条ならびに第 3 条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無。 ・本委員会は議事録作成のため録音している。 ・会議録の記載内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 <p>討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し。 第 18 条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開。</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2 名)</p> <p>・常岡委員長より指名 飯田委員、辻委員に依頼したい。 両者共に了承。</p> <p>■ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紹介患者に対する医療提供について <ul style="list-style-type: none"> 資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤に従って説明 資料 1-① 紹介率 80.0% 逆紹介率 103.8%で、年々高まっており、承認要件すべてを満たしている。 資料 1-② 前年と比較して診察依頼・検査依頼は増加、リニアックは減少。MRI 検査件数は増加。 				

リニアックについては近隣病院が設置したことによる影響で件数が減少したと思われる。MRI 件数増加に関しては、3 テスラ MRI の導入、稼動したことが増加に繋がったと思われる。CT 検査件数の減少については、MRI 検査を優先的に選択された結果と考えている。マンモグラフィー検査の件数減少に関しては、近隣の医療機関での実施により受検者が分散された結果と思われる。しかし、乳癌手術の患者については、去年の実績で 100 件を超える件数となっている。今年度も 100 件を上回る数字で診療を行っている。内視鏡検査に関しても昨年度を上回る件数となった。

資料 1-③ 住所地別紹介患者数では伊丹市が 826 件増加し、宝塚市、尼崎市、川西市の順となっている。

資料 1-④ 地域医療連携室の利用割合は前年とほぼ同じ。多くの医療機関が地域医療連携室を利用いただいている。

資料 1-⑤ 前年とほぼ同様、入院患者の 35.0%が紹介を受けた患者である。

資料 1 に関するコメント

→地域医療支援病院紹介率が、平成 26 年度の 68.2%から年々上昇され、平成 30 年度には、紹介率 80%となり、地域医療支援病院としての評価が高まってきているという印象を受けた。

2) 救急医療の提供について

資料 2 に従って説明

前年度と比較して、救急搬送数、入院患者数および入院化率は増加している。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

地域医療従事者研修会は 18 回開催した。院内の出席者はのべ 1671 名、院外からは 336 名。順調に開催している。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

今年度上半期の利用率は 2.3%と減少した。

利用率が上がらない原因は何か。また、地域医療機関としての立場から開放病床利用についての思いも聞きたい。

→やはり、地域医療支援病院としての市立伊丹病院に急性期的な治療は一任し、症状が落ち着かれ急性期を脱した段階で引き継ぎたいという思いが大きいため、開放病床の利用には積極的でないと思われる。

→現在、白内障手術での利用がメインになっているが、来月、循環器内科でのアブレーション治療による共同診療が決定している。今後、定期的にご利用いただくことができれば、利用率増加も期待できると思われる。

5) その他

・来年のゴールデンウィーク 10 連休を実施された場合の各機関の対応を伺いたい。

→ 伊丹市医師会においては検討をはじめたところである。休日診療所における応援医師の体制をどのようにしていくか、伊丹市内両病院の協力を得ながら調整していきたいと思っている。三田市医師会においては休日応急センターにて一次救急を診る、後方支援は三田市民病院に依頼する体制で考えている。尼崎市医師会においては、急病支援や県立尼崎総合医療センターがあるので特に心配はしていないが、今後検討していく予定にしている。伊丹市歯科医師会においては、おそらくカレンダー通りになると予想されるが、今後検討していく予定である。伊丹市薬剤師会では、会員に営業日時に関するアンケートを実施する予定にしており、アンケート結果を市立伊丹病院に提供したいと考えている。全体的に各機関とも詳細についてはこれから検討していく状況である。

■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しい中ご出席くださり誠にありがとうございます。30 年度前半の地域医療支援病院としての当院の取組み状況をご報告申し上げます。

お蔭様で今年度前半にご紹介いただいた患者さんの数は昨年に比べ増加しています。感謝申し上げます。また救急患者の受け入れ数も昨年に比べ増加しており、今年は年間 12,000 人のペースになっています。断らない救急を目指して当院のスタッフが頑張ってくれている成果だと感謝しています。

9 月 8 日に「第 3 回昆陽池さくら CLUB」を開催し多くの登録医の先生にご参加いただきました。また今年も多く診療所やクリニックを訪問させていただいています。今後も顔の見える連携作りに取り組みでまいりますのでご支援のほどをお願い申し上げます。

10 月から外科に加えて消化器外科を追加しました。患者さんに対して診療内容をわかりやすくすることと一層の専門性向上が目的です。また同じく 10 月から大阪大学の協力を得て心臓血管外科を新たに開設しました。現在は外来診療のみですが、将来的には手術を含めた入院診療にも拡大したいと考えています。

来年度も臨床研修医の定員は、医科が 10 名、歯科が 1 名です。昨年は医科に 36 名の応募があり驚きましたが、今年はそれを上回る医科 39 名、歯科 3 名の応募がありました。先日マッチングの結果が発表されお蔭様で医科は 10 名フルマッチとなりましたが、歯科は残念ながらマッチできませんでした。地域医療の研修でまたご面倒をおかけしますがよろしく願いいたします。

今年は 6 月に地震、9 月に台風に見舞われました。とくに台風の時には病院の窓ガラスや玄関の自動ドアが壊れるという被害がありましたが、幸い患者さんにも職員にもケガはありませんでした。関西電力からの電気の供給が 8~9 時間途絶えましたが、自家発電のお蔭でほぼ通常通りの診療を維持することができました。今回の経験を踏まえ、地域医療を支える中核病院として、より災害に強い病院作りを目指したいと思えます。

本日は本当にありがとうございました。今後ともご支援のほどをお願い申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。

■ 謝辞

本日は、第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会にご出席頂きまして、ご審議を頂き、大きな問題も無く無事終えることができましたことにお礼申し上げます。

当院のような病院は、かかりつけ医の先生方から患者をご紹介頂き、適切な医療を行って、再度かかりつけ医の先生にお返しすることによって、病院運営が成り立っております。

幸いなことに、当院にいつも患者をご紹介頂いております「登録医」の先生方も、先日 600 人を超えました。多くの先生方に支援して頂いていることに対して感謝しております。

当院の状況につきましては先に、飯石浩康病院長からも説明させて頂きましたので、私からは特に
ございません。

私は、「安全で、質の高い医療を、効率よく」を基にして、急性期病院としての機能を充実させ、患
者を含めた病院全体としてのチーム医療を進めていきたいと考えております。今後ともご指導、ご協
力を宜しくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

別紙のとおり「平成 30 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

平成 30 年 11 月 20 日

菅 岡 豊



印

別紙のとおり「平成 30 年度第 2 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 平成 30 年 11 月 26 日

辻 博夫



議事録署名人 平成 30 年 11 月 27 日

飯田 良治

